

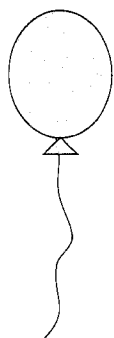
ひと・まち・自然のふれあい

ケア・アクションつる

ふれあい

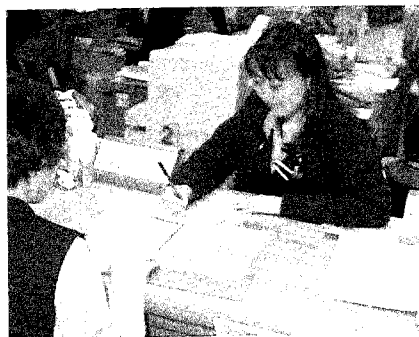


ふれあい・いきいきサロン
(十日市場にて)

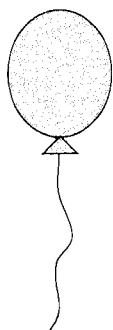


- ふれあい・いきいきサロン
- ドリームまつり
- 施設慰問
- 花いっぱい運動
- 高齢者友愛訪問
- お年寄りと子どものふれあい交流
- ふれあいショップの開設
- ふれあいベンチの設置
- ふれあいホストファミリー

あんしん



在宅介護支援センター



- 在宅介護支援センター
- 地域福祉権利擁護事業
- エンゼルプランの策定
- 障害者生活支援センターの設置
- 郵便物の手渡しによる安否確認

平成8年3月に策定された「第4次都留市長期総合計画」の基本理念・施策をより具体的な形で表し、市民総参加の21世紀を展望した、実施プランとして位置づけられた5つの柱の1つ「ケア・アクションつる」は、急速に進行する少子・高齢社会や多様化する福祉ニーズに対応するために計画したものです。

福祉の担い手は4者あり、「自助」→本人や家族のがんばり、「公助」→公的(行政)サービス、「償助」→有料福祉サービス、「共助」→地域住民やボランティアです。行政サービスは公平性があり、平等性が求められますが、ボランティアは個別なニーズに対応でき、これからの福祉にかかせない柱となるものです。このようなことから、「ケア・アクションつる」は、“ほっと”なまち“ほっと”なひとをめざしてボランティア活動を推進します。